

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2014年8月28日(28.08.2014)



(10) 国際公開番号
WO 2014/129065 A1

- (51) 国際特許分類:
A63H 3/46 (2006.01) *A63H 3/36* (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2013/083757
- (22) 国際出願日: 2013年12月17日(17.12.2013)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2013-033848 2013年2月22日(22.02.2013) JP
- (71) 出願人: 株式会社バンダイ (BANDAI CO., LTD.)
[JP/JP]; 〒1118081 東京都台東区駒形一丁目4番8号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 福地 英記 (FUKUCHI Hideki); 〒1118081
東京都台東区駒形一丁目4番8号 株式会社バンダイ内 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN,

CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーロパ (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

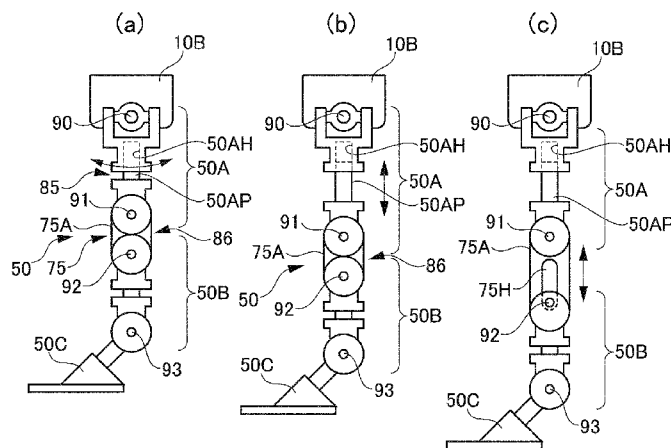
添付公開書類:

- 国際調査報告 (条約第21条(3))

(54) Title: DOLL FIGURE

(54) 発明の名称: 人形体

[図4]



(57) Abstract: [Problem] To provide a doll figure which can be configured in different forms of different postures notwithstanding simple manipulation. [Solution] Provided is a doll figure, comprising a head part, a torso part, and a plurality of limbs having joint parts. Each of the limbs further comprises a length adjustment part which adjusts the length of the limb. A length adjustment part is, at a joint part, formed at a segmenting part segmenting one limb part and another limb part, and is configured by inserting a shaft part which is disposed in the one limb part into a long hole which is formed extending in the longitudinal direction of the other limb part. Further, a length adjustment part is formed at a segmenting part which segments one limb part and another limb part, and is configured by inserting a rod body which is disposed on an end face of the one limb part into a hole which is formed on an end face of the other limb part.

(57) 要約:

[続葉有]



WO 2014/129065 A1



【課題】 簡単な操作にも拘わらず姿態の異なる別な態様を構成することのできる人形体を提供する。

【解決手段】 頭部と、胴部と、関節部を有する複数の肢体と、を有する人形体であって、前記各肢体は、前記肢体の長さを調節する長さ調節部を有する。前記長さ調節部は、前記関節部において、分割された一方の肢体と他方の肢体との分割部に形成され、前記一方の肢体に設けた軸体が他方の肢体の長手方向に延在して形成された長孔に挿入されることによって構成される。また、前記長さ調節部は、分割された一方の肢体と他方の肢体との分割部に形成され、前記一方の肢体の端面に設けた棒体が前記他方の肢体の端面に形成された孔に挿入されることによって構成される。

明 細 書

発明の名称：人形体

技術分野

[0001] 本発明は人形体に係り、特に、姿態が変化し得る人形体に関する。

背景技術

[0002] 人形体からなる玩具において、意外性のある変化に富んだ玩具について種々考案されている。

[0003] たとえば、人形体に操作部が設けられ、この操作部による第1の操作で、解除手段が第1の保持手段と他の保持手段の解除を異なる時期に実行し、また、前記操作部による第2の操作で、第1の保持手段と他の保持手段の解除をほぼ同時に実行する機構を備えたものが開示されている（下記特許文献1参照）。

[0004] これにより、操作部による操作によって、人形体に異なる変化を起こさせ、意外性のある玩具を得ることができる。

先行技術文献

特許文献

[0005] 特許文献1：特開2012-115504号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0006] 上述した人形体は、上述したように、人形体に、操作部、保持手段、および解除手段等を組み込む必要があり、構成が極めて複雑化するというものである。

[0007] しかし、一方において、簡単な操作によって姿態が変化できる人形体を構成することにより、手軽に人形体の意外性を楽しむことができることが要望される。

[0008] 本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、簡単な操作にも拘わらず姿態の異なる別な態様を構成できる人形体を提供する。

課題を解決するための手段

- [0009] 本発明の人形体は、頭部と、胴部と、関節部を有する複数の肢体と、を有する人形体であって、前記各肢体は、前記肢体の長さを調節する長さ調節部を有する。
- [0010] 本発明の人形体において、前記関節部は、分割された一方の肢体と他方の肢体との分割部に形成され、前記一方の肢体に設けた軸体と、他方の肢体に形成され前記軸体が挿入される孔とで構成され、前記長さ調節部は、前記関節部の前記孔を肢体の長手方向に延在させた長孔として形成することによって構成することが好ましい。また、本発明の人形体において、前記長さ調節部は、分割された一方の肢体と他方の肢体との分割部に形成され、前記一方の肢体の端面に設けた棒体と、前記他方の肢体の端面に形成され前記棒体を挿入可能な開口部とを有することが好ましい。
- [0011] 本発明の人形体において、前記胴部と前記頭部との間隔を調節できる間隔調節部を有し、前記間隔調節部は、前記胴部と前記頭部のうちの一方に設けた棒体と、前記胴部と前記頭部のうちの他方に形成され前記棒体を挿入可能な開口部とを備えることが好ましい。
- [0012] また、本発明の人形体において、前記胴部は、胴部本体と腰部とで構成され、前記胴部本体と前記腰部との間隔を調節できる間隔調節部を有し、前記間隔調節部は、前記胴部本体と前記腰部のうちの一方に設けた棒体と、前記胴部本体と前記腰部のうちの他方に形成され前記棒体を挿入可能な開口部とを備えることが好ましい。
- [0013] 本発明の人形体において、前記胴部に対して回動可能に取り付けられた肩部材を有し、前記肩部材は、前記肩部材を前方に回動したとき、前記胴部の側面を取り囲むことが可能な曲部を有することが好ましい。
- [0014] 本発明の人形体において、前記長さ調節部によって調節された前記肢体の長さに対応する代替肢体が前記肢体を被って取り付けられていることが好ましい。本発明の人形体において、前記間隔調節部によって調節された前記胴部と前記頭部との間隔に対応する代替胴部および代替頭部の少なくとも一方が

前記胴部あるいは前記頭部を被って取り付けられていることが好ましい。本発明の人形体において、前記間隔調節部によって調節された前記胴部本体と前記腰部との間隔に対応する代替胴部本体および代替腰部の少なくとも一方が前記胴部本体あるいは前記腰部を被って取り付けられていることが好ましい。

発明の効果

[0015] このように構成した人形体によれば、簡単な操作にも拘わらず姿態の異なる別な態様を構成することができる。

図面の簡単な説明

[0016] [図1]本発明の人形体の第1 姿態を示す全体図である。

[図2]本発明の人形体の頭部の胴部に対する取り付けの構成を示した図である。

[図3]本発明の人形体の腰部の胴部本体に対する取り付けの構成を示した図である。

[図4]本発明の人形体の腰部に取り付けた脚部の構成を示した図である。

[図5]本発明の人形体の関節部に用いられる部材の説明図である。

[図6]本発明の人形体の肩部に取り付けられる左側の腕部および右側の腕部の構成図である。

[図7]本発明の人形体が腕組みをした状態を示す全体図である。

[図8]本発明の人形体に代替頭部等を取り付けて別な人形体を構成する説明図である。

[図9]図8 に示す方法で形成した別な人形体を示す図である。

[図10]図9 に示した人形体において代替頭部等を透視させて示した図である。

発明を実施するための形態

[0017] 以下、添付図面を参照して、本発明を実施するための形態（以下、実施形態）について詳細に説明する。なお、実施形態の説明の全体を通して同じ要素には同じ番号を付している。（実施形態1） 図1 は、本発明の人形体の第

1 姿態を示す全体図である。人形体 1 は、たとえば人間の姿に似せて形成されている。人形体 1 は、たとえば合成樹脂の材料から構成されている。

[0018] 図 1 に示すように、人形体 1 は胴部 10 を備え、この胴部 10 には頭部 20、左側の腕部（肢体）30、右側の腕部（肢体）40 が取り付けられている。また、胴部 10 は、胴部本体 10A と腰部 10B とで構成され、腰部 10B には、左側の脚部（肢体）50、右側の脚部（肢体）60 が取り付けられている。

[0019] 左側の腕部 30 は、胴部 10 の上部の肩 70 側から、上腕部 30A、下腕部 30B、および手部 30C が順次連結されて構成され、右側の腕部 40 は、肩 70 側から、上腕部 40A、下腕部 40B、および手部 40C が順次連結されて構成されている。

[0020] なお、図 1 では、前記手部 30C、40C は棒体として示しているが、たとえば図 6 に示すように、必要に応じて該棒体に手の形をした部材が嵌め込まれるようになっている。

[0021] 左側の脚部 50 は、腰部 10B 側から、上腿部 50A、下腿部 50B、および足部 50C が順次連結されて構成され、右側の脚部 60 は、腰部 10B 側から、上腿部 60A、下腿部 60B、および足部 60C が順次連結されて構成されている。

[0022] 図 2（a）、（b）は、頭部 20 の胴部 10 に対する取り付けの構成を示した図である。頭部 20 と胴部 10 の間には間隔調節部 80 を有し、この間隔調節部 80 は、胴部 10 から突出して形成された棒体 10P と、頭部 20 に形成され該棒体 10P を挿入させる孔 20H とで構成されている。棒体 10P は比較的長く形成され、孔 20H は比較的深く形成されている。また、孔 20H に挿入される棒体 10P は、該孔 20H に挿入された状態で若干の摩擦を有して軸方向に移動できるようになっている。これにより、図 2（a）、（b）に示すように、頭部 20 は、胴部 10 に対してそれらの間隔を調整して配置させることができるようになっている。また、頭部 20 は胴体 10 に対して棒体 10P を中心として図中矢印方向に回動できるようになっている。

る。

[0023] なお、図2 (a) (b) では、胴部10に棒体10Pを、頭部20に孔20Hを設けるようにしたものであるが、これに限定されることはなく、胴部10に孔20Hを、頭部20に棒体10Pを設けるようにしてもよい。同様の効果が得られるからである。

[0024] 図3 (a)、(b) は、腰部10Bの胴部本体10Aに対する取り付けの構成を示した図である。胴部本体10Aと腰部10Bの間には間隔調節部81を有し、この間隔調節部81は、腰部10Bから突出して形成された棒体10BPと、胴部本体10Aに形成され該棒体10BPを挿入させる孔10AHとで構成されている。棒体10BPは比較的長く形成され、孔10AHは比較的深く形成されている。また、孔10AHに挿入される棒体10BPは、該孔10AHに挿入された状態で若干の摩擦を有して軸方向に移動できるようになっている。これにより、図3 (a)、(b) に示すように、腰部10Bは、胴部本体10Aに対してそれらの間隔を調整して配置させることができるようになっている。また、腰部10Bは胴部本体10Aに対して棒体10BPを中心として図中矢印方向に回転できるようになっている。

[0025] なお、図3 (a) (b) では、腰部10Bに棒体10BPを、胴部本体10Aに孔10AHを設けるようにしたものであるが、これに限定されることはなく、腰部10Bに孔10AHを、胴部本体10Aに棒体10BPを設けるようにしてもよい。

[0026] 図4 (a)、(b)、(c) は、腰部10Bに取り付けた脚部50の構成を示した図である。なお、図4 (a)、(b)、(c) では、左側の脚部50を示しているが、右側の脚部60 (図1参照) においても同様の構成となっている。図4 (a) において、腰部10Bには、人形体1 (図1参照) の左右に延在する軸体90 (図3参照) が形成され、この軸体90の一端が挿入される上腿部50Aを有する。この上腿部50Aは、腰部10Bに対して軸体90を中心に前後方向に揺動できるようになっている。

[0027] また、上腿部50Aは、長さ調節部85が形成され、長さ調節部85は、そ

の箇所分割された一方の上腿部の端面に設けた棒体50APが他方の上腿部の端面に形成された孔50AHに挿入されることによって構成されている。棒体50APは比較的長く形成され、孔50AHは比較的深く形成されている。また、孔50AHに挿入される棒体50APは、該孔50AHに挿入された状態で若干の摩擦を有して軸方向に移動できるようになっている。これにより、上腿部50Aは、図4(b)に示すように、その長さを図中矢印方向に調節できるようになっている。

[0028] なお、上腿部50Aは、図4(a)に示すように、長さ調節部85の箇所において、棒体50APを中心として図中矢印方向に回転できるようになっている。

[0029] また、上腿部50Aと下腿部50Bとの間に関節部75を有し、この関節部75において、長さ調節部86を備えた構成となっている。すなわち、上腿部50Aの下端部には、図5(a)、(b)に示すように、上腿部50Aに軸体91によって軸支された長孔板75Aを有する。長孔板75Aは、上腿部50Aに対して人形体1の前後方向に揺動できるように軸支され、脚部50の長手方向に延在する長孔75Hが設けられている。なお、図5(a)は平面図を、図5(b)は側面図である。また、図4(a)に戻り、下腿部50Bの上端部には、軸体92が長孔板75Aの長孔75Hに挿入された状態で形成されている。これにより、関節部75は、下腿部50Bが上腿部50Aに対して軸体91あるいは92を中心として揺動できるようになっている。そして、このように構成された関節部75は、長さ調節部86を兼ね、図4(c)に示すように、軸体92が長孔75Hに沿って摺動することにより、長孔板75Aの長孔75Hの長さに応じて、図中矢印方向に上腿部50Aと下腿部50Bの間隔を、すなわち、脚部50の長さを調節できるようになっている。

[0030] また、足部50Cは下腿部50Bの下端において人形体1の左右に延在する軸体93を中心に回転できるようにして取り付けられている。

[0031] 図6(a)、(b)は、胴部10の肩部70に取り付けられた左側の腕部3

０および右側の腕部４０を示した図である。図６（ａ）は、胴部１０を上面から見た図（頭部２０は省略）、図６（ｂ）は、胴部１０を正面から見た図（頭部２０は省略）である。

[0032] 図６（ａ）、（ｂ）において、左側の腕部３０および右側の腕部４０はいずれも同様の構成となっている。ここでは、たとえば右側の腕部４０の説明をする。

[0033] まず、胴部１０の上部には前方側に凹となる湾曲部を有する肩部７０が取り付けられている。肩部

７０の胴部１０への取り付けは、肩部７０の先端に設けられた球体７０Ａが胴体１０によって内包されることにより、肩部７０の胴部１０に対する揺動的な動きを可能にしている。

[0034] 肩部７０の胴体１０と反対側の他端には上腕部４０Ａが連結されている。肩部７０の他端には円柱体４１がその軸周りに回転できるように取り付けられ、上腕部４０の一端には円柱体４１の側面を挟持するようにコ字状体４２が形成されている。円柱体４１の対向する側面にはそれぞれ突起４３が形成され、これら突起４３はコ字状体４２の対向する各片に形成された孔４４に挿入されている。これにより、上腕部４０Ａは肩部７０に対して軸方向の周り（図中矢印方向）に回転できるようになっている。なお、図中右側の上腕部４０と左側の上腕部３０は、それぞれ、肩部７０に対して９０°の角度差を有して回転されている状態を示している。

[0035] また、上腕部４０Ａには、長さ調節部８７が形成され、長さ調節部８７は、その箇所で分割された一方の上腕部の端面に設けた棒体４０ＡＰが他方の上腕部の端面に形成された孔４０ＡＨに挿入されることによって構成されている。棒体４０ＡＰは比較的長く形成され、孔４０ＡＨは比較的深く形成されている。また、孔４０ＡＨに挿入される棒体４０ＡＰは、該孔４０ＡＨに挿入された状態で若干の摩擦を有して軸方向に移動できるようになっている。これにより、上腕部４０Ａは、その長さを調節できるようになっている。

[0036] 上腕部４０Ａと下腕部４０Ｂの間の関節部７６は、上腕部４０Ａの下端に形

成されたコ字状体 77 に下腕部 40B の上端に形成された板体 78 が、該コ字状体 77 および板体 78 を貫通する軸体 79 によって連結されることによって構成されている。

[0037] このように構成された左側の腕部 30 および右側の腕部 40 は、それらが取り付けられる肩部 70 において、人形体 1 の前方側に凹となる湾曲部を有するように構成したことから、胴部 10 の前方に近接させて配置させることが容易になる。なお、肩部 70 の形状は、肩部 70 を前方に回動させたときに胴部 10 の側部を取り囲むことが可能なように曲部を有する形状であれば特に限定されるものではない。例えば、弓形のような湾曲した形状や、くの字状に屈曲した形状であってもよい。このような形状を有することにより、たとえば、図 7 に示すように、左側の腕部 30 および右側の腕部 40 を互いに腕組みさせるようにして配置させることができるようになる。

[0038] なお、図 6 (a)、(b) から明らかなように、頭部 20 (図 2 参照) を支持する棒体 10P は、胴部 10 に形成された凹部 10Q 内に配置され、人形体 1 の左右方向に支軸 12 を有する円柱体 11 の側面の中央に植設されている。これにより、頭部 20 は支軸 12 を中心にして前後方向に傾くように回動させることができるようになる。

[0039] このように構成された人形体 1 は、左側の脚部 50、右側の脚部 60、左側の腕部 30、右側の腕部 40 の各肢体において、それら肢体に形成された長さ調節部 85、86、87 によって、それらの長さを調節することができるようになる。また、胴部 10 と頭部 20 の間に形成した間隔調節部 80 によって、胴部 10 と頭部 20 の間隔を調節することができるようになる。さらに、胴部本体 10A と腰部 10B の間に形成した間隔調節部 81 によって、胴部本体 10A と腰部 10B の間隔を調節することができるようになる。

[0040] このため、人形体 1 において、各肢体の長さ、胴部 10 と頭部 20 の間隔、胴部本体 10A と腰部 10B の間隔を変えることができ、人形体 1 の全体の姿勢の変化を楽しむことができる効果を奏するようになる。(実施形態 2)

図 8 は、本発明の人形体の実施形態 2 を示す構成図である。

[0041] 図8において、人形体1は、図1に示した人形体1と同様の構成となっている。この場合、人形体1は、たとえば、左側の脚部50、右側の脚部60、左側の腕部30、右側の腕部40の各肢体において、それら肢体に形成された長さ調節部85、86、87によって、それらの長さが最大となっているとする。そして、胴部10と頭部20の間に形成した間隔調節部80によって、たとえば、胴部10と頭部20の間隔が最大となっているとする。さらに、胴部本体10Aと腰部10Bの間に形成した間隔調節部81によって、たとえば、胴部本体10Aと腰部10Bの間隔が最大となっているとする。

[0042] そして、人形体1の頭部20には、予め用意された代替頭部20'が該頭部20を被って取り付けられるようになっている。代替頭部20'は、たとえば、前方と後方とに分割された2つの部材A、Bから構成され、これら部材A、Bを頭部20の前方および後方から宛がうことによって該頭部20に代替頭部20'が取り付けられるようになっている。なお、代替頭部20'の各部材A、Bは、それぞれ、頭部20に嵌合される構成であっても、各部材A、B同士が係合するような構成であってもよい。この場合、上述したように、胴部10と頭部20の間隔が最大となっていることから、代替頭部20'は頭部20を被って該頭部20に取り付けることができるようになる。

[0043] 同様に、人形体1の胴部本体10Aには、予め用意された代替胴部本体10A'が該胴部本体10Aを被って取り付けられるようになっている。代替胴部本体10A'は、たとえば、前方で2つの部材A、B、後方で2つの部材C、Dで構成され、これら部材A、B、C、Dを胴部本体10Aの前方および後方から宛がうことによって該胴部本体10Aに代替胴部本体10A'が取り付けられるようになっている。なお、代替胴部本体10A'の各部材A、B、C、Dは、それぞれ、代替胴部本体10A'に嵌合される構成であっても、各部材同士A、B、C、Dが係合するような構成であってもよい。この場合、上述したように、胴部10と頭部20の間隔、また胴部本体10Aと腰部10Bの間隔が最大となっていることから、代替胴部本体10A'は

胴部本体 10A を被って該胴部本体 10A に取り付けることができるようになる。

[0044] 同様に、人形体 1 の腰部 10B には、予め用意された代替腰部 10B' が該腰部 10B を被って取り付けられるようになっている。代替腰部 10B' は、たとえば、前方と後方とに分割された 2 つの部材 A、B から構成され、これら部材 A、B を腰部 10B の前方および後方から宛がうことによって該腰部 10B に代替腰部 10B' が取り付けられるようになっている。代替腰部 10B' の各部材 A、B は、それぞれ、腰部 10B に嵌合される構成であっても、各部材 A、B 同士が係合するような構成であってもよい。この場合、上述したように、胴部本体 10A と腰部 10B の間隔が最大となっていることから、代替腰部 10B' は腰部 10B を被って該腰部 10B に取り付けることができるようになる。

[0045] さらに、たとえば、右側の脚部 60 には、予め用意された代替脚部 60' が該脚部 60 を被って取り付けられるようになっている。代替脚部 60' は、たとえば、上腿部 60A を側面から宛がう 1 つの部材 A、下腿部 60B を前方および後方からそれぞれ宛がう 2 つの部材 B、C によって構成されている。代替脚部 60' の各部材 A、B、C は、それぞれ、脚部 60 に嵌合される構成であっても、各部材 A、B、C 同士が係合するような構成であってもよい。この場合、上述したように、脚部 60 の長さが最大となっており、代替脚部 60' は該脚部 60 の長さに応じて該脚部 60 に取り付けることができるようになる。

[0046] なお、図 8 では、左側の脚部 50、左側の腕部 30、および右側の腕部 40 におけるそれぞれの代替脚部、代替腕部を省略して示したものであるが、右側の脚部 60 と同様に、上述した代替脚部、および代替腕部が取り付けられているものとする。

[0047] このように構成された人形体 1 は、たとえば図 9 に示すように、図 1 に示した人形体 1 と比べて全く姿態の異なる第 2 姿態の人形体 2 を構成することができるようになる。図 10 は、人形体 1 と人形体 2 の関係を示した図で、代

替頭部、代替胴部等の代替部材を透視させて人形体 1 を示した図である。

[0048] (実施形態 3) 実施形態 2 では、人形体 1 の頭部 20、胴部 10、肢体 30、40、50、60 の全てに代替頭部 20'、代替胴部 10'、代替肢体 30'、40'、50'、60' を取り付けるように構成したものである。しかし、これに限定されることはなく、たとえば人形体 1 の頭部 20 には代替頭部 20' を取り付けない等の状態で新たな人形体を構成するようにしてもよい。この場合、たとえば、代替頭部 20' を取り付けない場合において、頭部 20 は胴部 10 との間隔を長くすることなく短くした状態とすることもできる。

[0049] (実施形態 4) また、人形体 1 の頭部 20、胴部 10 等に取り付ける代替頭部 20'、代替胴部 10' 等は、種々の大きさあるいは形態の異なるものを用意しておき、それらを選択して用いるようにしてもよいことはもちろんである。

[0050] (実施形態 5) 上述した実施形態では、いずれも人間の姿に似せた人形体について説明したものである。しかし、これに限定されることはなく、たとえば動物等の姿に似せた人形体にも適用できることはいうまでもない。

[0051] 以上、実施形態を用いて本発明を説明したが、本発明の技術的範囲は上記実施形態に記載の範囲には限定されないことは言うまでもない。上記実施形態に、多様な変更または改良を加えることが可能であることが当業者に明らかである。また、その様な変更または改良を加えた形態も本発明の技術的範囲に含まれ得ることが、特許請求の範囲の記載から明らかである。

符号の説明

[0052] 1、2……人形体、10……胴部、10A……胴部本体、10A'……代替胴部本体、10AH……孔、10B……腰部、10B'……代替要部、10BP……棒体、10P……棒体、10Q……凹部、11……円柱体、12……支軸、20……頭部、20H……孔、30……左側の腕部（肢体）、30A……上腕部、30B……下腕部、30C……手部、40……右側の腕部（肢体）、40A……上腕部、40B……下腕部、40C……手部、40AP

……棒体、40AH……孔、41……円柱体、42……コ字状体、43……突起、44……孔、50……左側の脚部（肢体）、50A……上腿部、50B……下腿部、50C……足部、60……右側の脚部（肢体）、60A……上腿部、60B……下腿部、60C……足部、70……肩、70A……球体、75……関節部、75A……長孔板、75H……長孔、76……関節部、77……コ字状体、78……板体、79……軸体、80、81……間隔調節部、85、86、87……長さ調節部、90、91、92、93……軸体。

請求の範囲

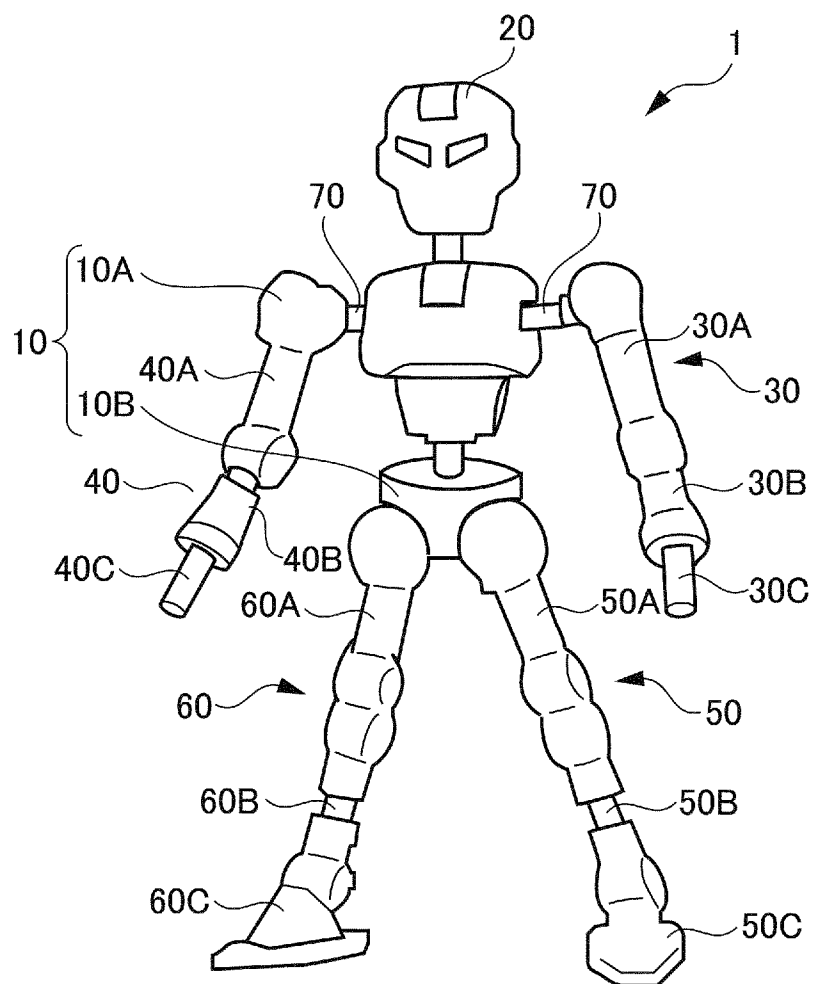
- [請求項1] 頭部と、胴部と、関節部を有する複数の肢体と、を有する人形体であって、 前記各肢体は、前記肢体の長さを調節する長さ調節部を有する人形体。
- [請求項2] 請求項1において、 前記関節部は、分割された一方の肢体と他方の肢体との分割部に形成され、前記一方の肢体に設けた軸体と、他方の肢体に形成され前記軸体が挿入される孔とで構成され、 前記長さ調節部は、前記関節部の前記孔を肢体の長手方向に延在させた長孔として形成することによって構成する人形体。
- [請求項3] 請求項1において、 前記長さ調節部は、分割された一方の肢体と他方の肢体との分割部に形成され、 前記一方の肢体の端面に設けた棒体と、前記他方の肢体の端面に形成され前記棒体を挿入可能な開口部とを有する人形体。
- [請求項4] 請求項1において、 前記胴部と前記頭部との間隔を調節できる間隔調節部を有し、 前記間隔調節部は、前記胴部と前記頭部のうちの一方に設けた棒体と、前記胴部と前記頭部のうちの他方に形成され前記棒体を挿入可能な開口部とを備える人形体。
- [請求項5] 請求項1において、 前記胴部は、胴部本体と腰部とで構成され、前記胴部本体と前記腰部との間隔を調節できる間隔調節部を有し、前記間隔調節部は、前記胴部本体と前記腰部のうちの一方に設けた棒体と、前記胴部本体と前記腰部のうちの他方に形成され前記棒体を挿入可能な開口部とを備える人形体。
- [請求項6] 請求項1において、 前記胴部に対して回動可能に取り付けられた肩部材を有し、 前記肩部材は、前記肩部材を前方に回動したとき、前記胴部の側面を取り囲むことが可能な曲部を有する人形体。
- [請求項7] 請求項1において、 前記長さ調節部によって調節された前記肢体の長さに対応する代替肢体が前記肢体を被って取り付けられている人形

体。

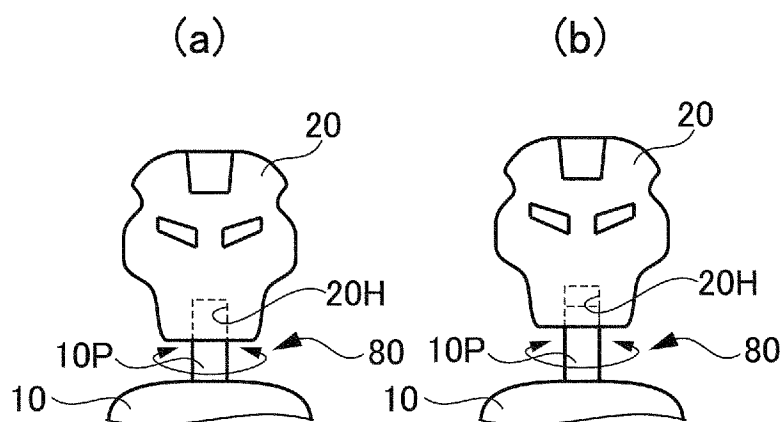
[請求項8] 請求項4において、 前記間隔調節部によって調節された前記胴部と前記頭部との間隔に対応する代替胴部および代替頭部の少なくとも一方が前記胴部あるいは前記頭部を被って取り付けられている人形体。

[請求項9] 請求項5において、 前記間隔調節部によって調節された前記胴部本体と前記腰部との間隔に対応する代替胴部本体および代替腰部の少なくとも一方が前記胴部本体あるいは前記腰部を被って取り付けられている人形体。

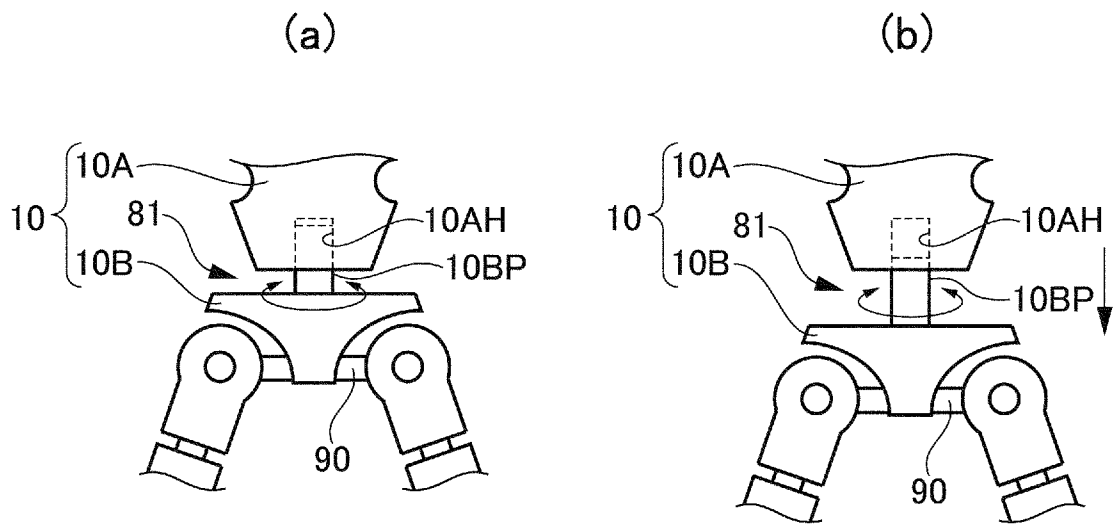
[図1]



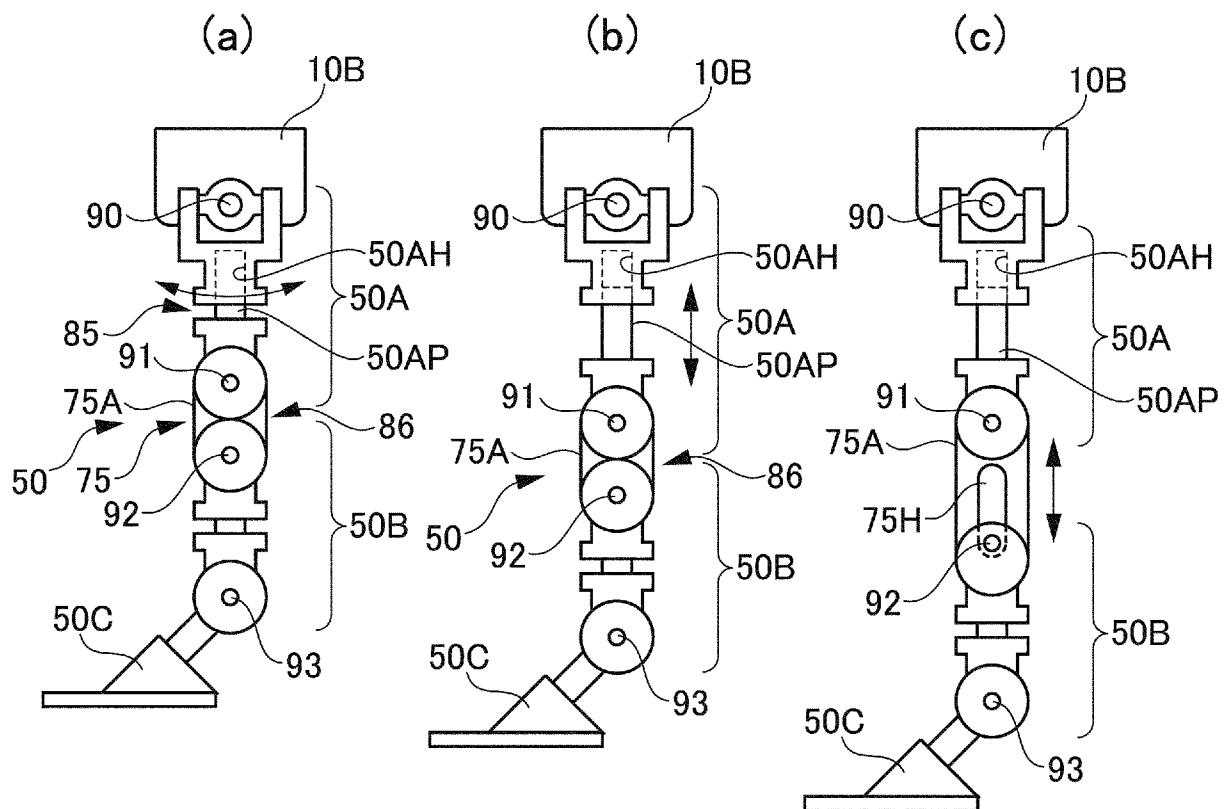
[図2]



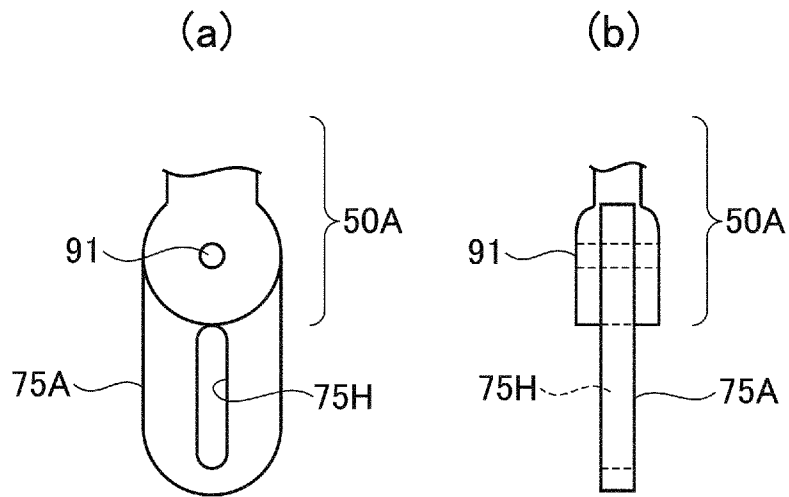
[図3]



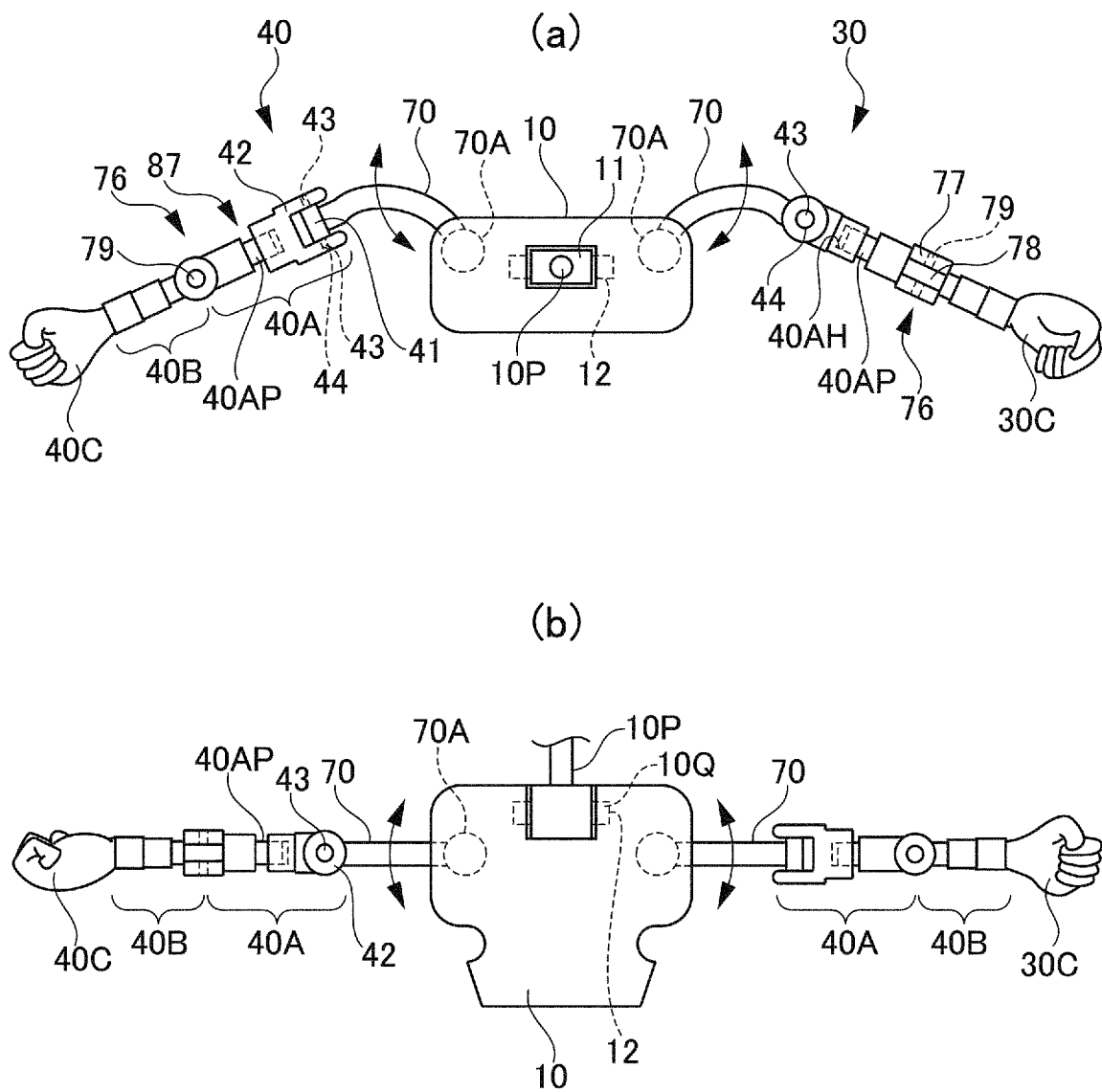
[図4]



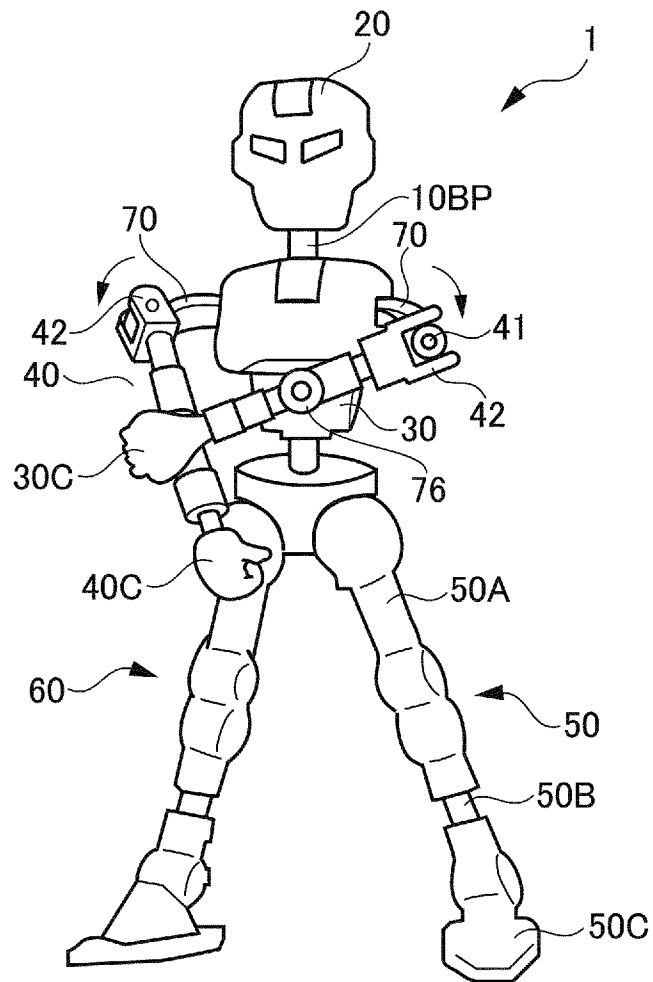
[図5]



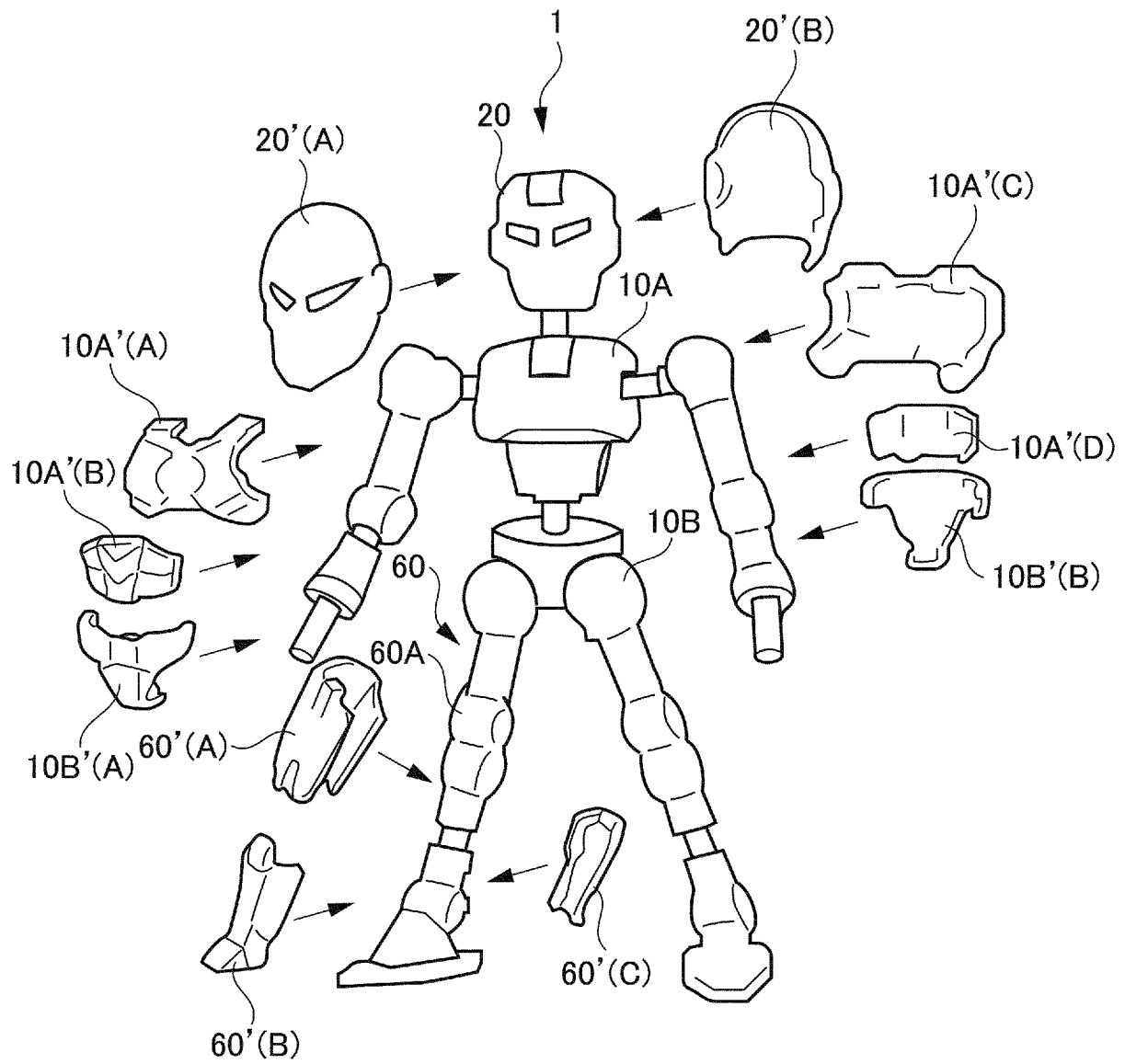
[図6]



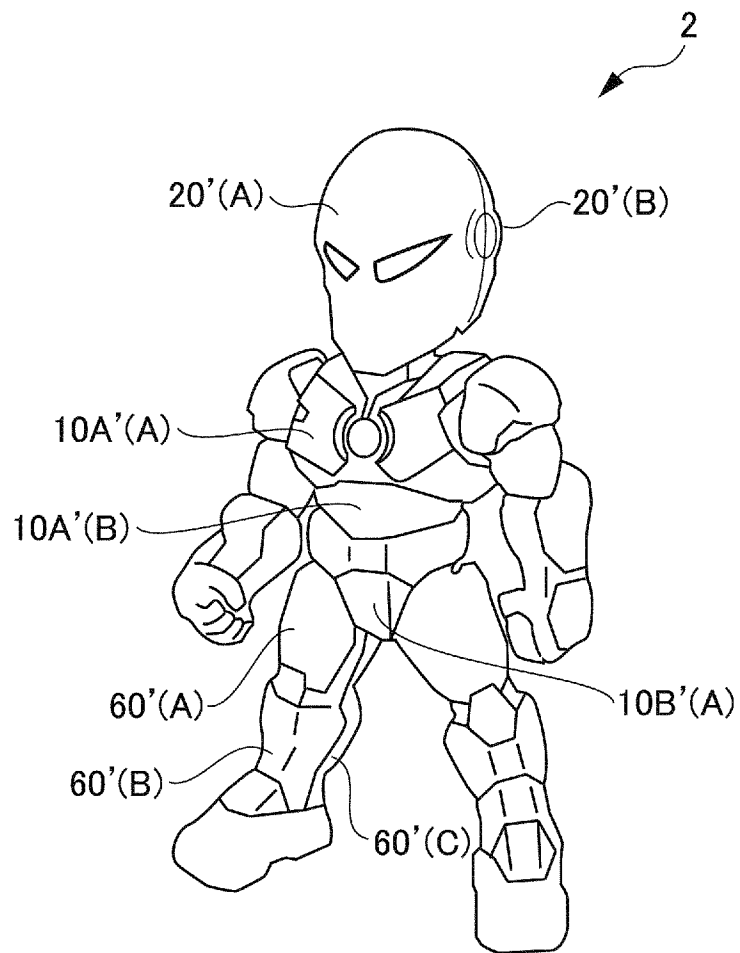
[図7]



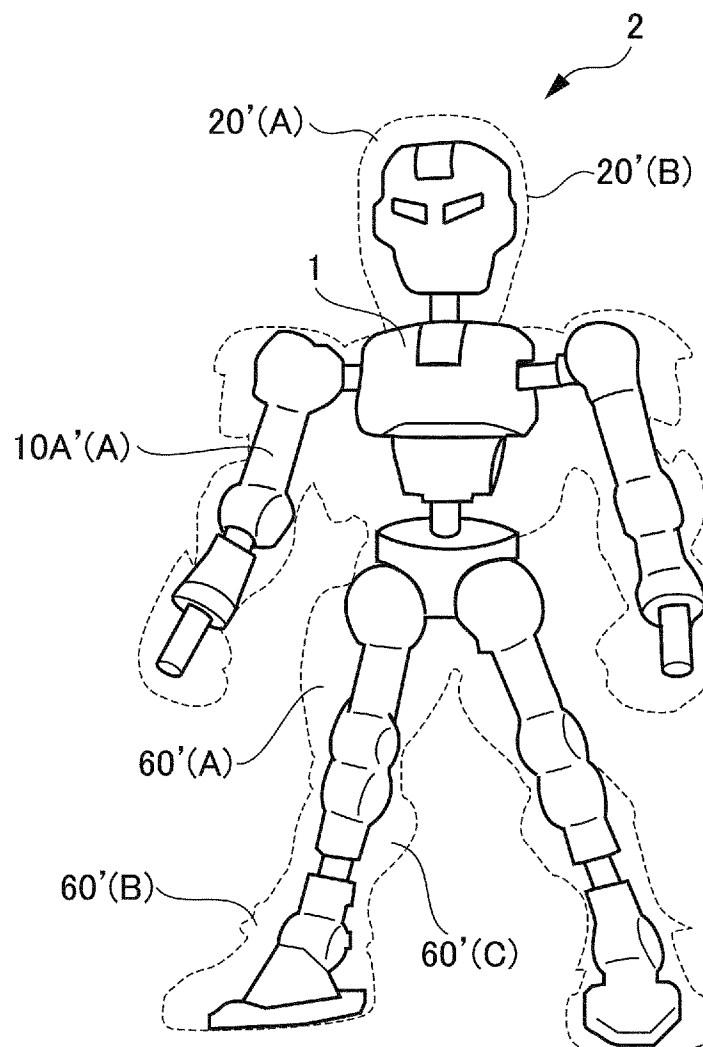
[図8]



[図9]



[図10]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2013/083757

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

A63H3/46(2006.01)i, A63H3/36(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A63H1/00-37/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2014
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2014	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2014

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	JP 2002-227829 A (Kabushiki Kaisha Mega House), 14 August 2002 (14.08.2002), entire text; fig. 1 to 7 & JP 3726023 B2	1 2-9
Y	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 130029/1984 (Laid-open No. 45993/1986) (Takara Co., Ltd.), 27 March 1986 (27.03.1986), entire text; fig. 1 to 3 (Family: none)	2

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
 "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
 "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
 "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
 "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
 "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
 "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
 "&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
04 March, 2014 (04.03.14)

Date of mailing of the international search report
11 March, 2014 (11.03.14)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2013/083757

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 3863501 B2 (Konami Digital Entertainment Co., Ltd.), 27 December 2006 (27.12.2006), paragraph [0022]; fig. 3, 6 & JP 2004-344190 A & US 2006/0258260 A1 & US 7331841 B2 & GB 2418870 A & GB 2418870 B & WO 2004/101096 A1 & CN 1791450 A & CN 100502991 C & HK 1088266 A1	3, 5, 9
Y	JP 2-159291 A (Takara Co., Ltd.), 19 June 1990 (19.06.1990), page 3, upper left column, line 9 to upper right column, line 11; fig. 4 (Family: none)	4-5, 8-9
Y	JP 3136840 U (Kabushiki Kaisha Kaiyodo), 08 November 2007 (08.11.2007), paragraphs [0048], [0056]; fig. 14 to 22 (Family: none)	6
Y	JP 7-6950 Y2 (Takara Co., Ltd.), 22 February 1995 (22.02.1995), entire text; fig. 1 to 15 & JP 1-167297 U	7-9
A	JP 4500220 B2 (Obitsu Plastic Manufacturing Co., Ltd.), 14 July 2010 (14.07.2010), entire text; fig. 1 to 14 & JP 2006-346285 A	1-9
A	JP 2000-140449 A (Takara Co., Ltd.), 23 May 2000 (23.05.2000), entire text; fig. 1 to 6 (Family: none)	1-9

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. A63H3/46(2006.01)i, A63H3/36(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. A63H1/00-37/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 4 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 4 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 4 年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X Y	JP 2002-227829 A（株式会社メガハウス） 2002.08.14, 全文, 【図1】－【図7】 & JP 3726023 B2	1 2-9
Y	日本国実用新案登録出願59-130029号（日本国実用新案登録出願公開61-45993号）の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム（株式会社タカラ） 1986.03.27, 全文, 第1図－第3図 （ファミリーなし）	2

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

0 4 . 0 3 . 2 0 1 4

国際調査報告の発送日

1 1 . 0 3 . 2 0 1 4

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（I S A / J P）
郵便番号100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

植野 孝郎

2 B

9 2 0 9

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 2 3 7

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 3863501 B2 (株式会社コナミデジタルエンタテインメント) 2006.12.27, 段落【0022】, 【図3】, 【図6】 & JP 2004-344190 A & US 2006/0258260 A1 & US 7331841 B2 & GB 2418870 A & GB 2418870 B & WO 2004/101096 A1 & CN 1791450 A & CN 100502991 C & HK 1088266 A1	3, 5, 9
Y	JP 2-159291 A (株式会社タカラ) 1990.06.19, 第3頁左上欄第9行～右上欄第11行, 第4図 (ファミリーなし)	4-5, 8-9
Y	JP 3136840 U (株式会社海洋堂) 2007.11.08, 段落【0048】, 【0056】, 【図14】－【図22】 (ファミリーなし)	6
Y	JP 7-6950 Y2 (株式会社タカラ) 1995.02.22, 全文, 【第1図】－【第15図】 & JP 1-167297 U	7-9
A	JP 4500220 B2 (株式会社オビツ製作所) 2010.07.14, 全文, 【図1】－【図14】 & JP 2006-346285 A	1-9
A	JP 2000-140449 A (株式会社タカラ) 2000.05.23, 全文, 【図1】－【図6】 (ファミリーなし)	1-9